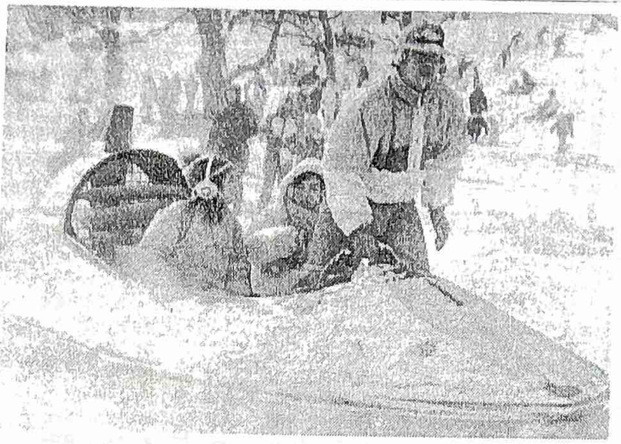
秋田 12版▲ 1988年(昭和63年)2月8日 月曜日 朝日



大音響をあげ雪を舞い上げながらホーバークラフトは走る＝秋田市の八橋運動公園で

にぎやか童っ子の雪まつり

伝統行事に新しい催しも

ミニファイル

雪国秋田の伝統的なまつりや行事を一堂に集め、子供たちに伝えようと、「童（わらし）っ子の雪まつり」が七日、秋田市の八橋運動公園で開かれた。この日の秋田市は時折吹雪に見舞われ、午後一時には零下五・四度まで冷え込んだが、カラフルなスノーウエアに身を包んだ親子連れなどが冬の一日を楽しんだ。人出は昨年並みの約六万人。

会場には、横手のかまくらや湯沢の犬っこなどの雪像が並び、子供たちは像によじ登ったり、家族と記念撮影をするなど大はしゃぎ。また昔なつかしい米菓子「ドン」の実演コーナーには人だかりができ、「ドーン」という音とともに湯気が立ちのぼると歓声がわいた。

伝統的な遊びの中で、新しい目玉も。今年は初めてホーバークラフトの雪の上での試乗会が行われた。スピードこそあまり出ないものの、大音響をあげ雪を舞い上げながら動き回る姿は子供たちの目をひいた。

同級生三人で来ていた秋田市築山小四年の三戸真理子ちゃん(10)は「動きだす時、フワッと浮くような感じがしておもしろかった」と満足げ。また昨年から設けられたカーリングのコーナーでは、自分の体を滑らせる人間カーリングが行われ、人気を呼んでいた。

このほか、北秋田郡比内町の「とりとん共和国」、雄勝郡羽後町の「うご牛まつり」も今年初めて参加。訪れた人たちはきりたんぽや焼いた牛肉を食べて冷えた体をあたためていた。

毎日新聞
(17) 秋田 1988年(昭和63年)2月8日(月曜日)

6万人、雪と遊ぶ

恒例の童っ子の雪まつり

「見直そう雪国の遊びを!! 親しもう雪の遊びに!!」をテーマに、今年も「第13回童っ子の雪まつり」（秋田伝承遊び研究会、秋田市、同市教委主催、毎日新聞秋田支局ほか後援）が七日、秋田市八橋運動公園で開かれた。

雪国秋田ならではの冬の民俗行事や伝統文化を子供たちに伝え、夢と創造力をはぐくませようとの狙いで始まったもの。市民にはすっかりなじみの行事とあって、この日は吹雪の中、約6万人の人出でにぎわった。

会場では、子供たちを乗せて走る馬ゾリコーナーや、今年初めてお目見えした雪上ホバークラフトが人気の的。湯沢市の犬っこまつりや、横手のカマクラ、三吉神社の梵天など、県内の小正月行事も披露され、訪れた人は大喜び。

会場に来ていた秋田市中通の喫茶店経営、谷村隆さん(32)と美樹子さん(26)夫婦は長男翔太ちゃん(2)に引っぱられるようにして、犬の雪像の前でスナップ写真をパチリ、パチリ。親子水いらずの日曜日を楽しんでいた。

「童っ子の雪まつり」で犬の雪像をバックに記念撮影する母子

No. 56